

教員採用 Q & A

Q1 令和8年度の採用試験に関するスケジュールを教えてください。

A

実施時期	実施内容
令和7年 4月上旬	実施要項等発表
6月15日(日)	第一次選考
7月中旬	第一次選考結果発表
7月下旬～8月中旬	第二次選考
9月中旬	第二次選考結果発表
1月上旬	健康診断・内定者研修
12月～2月下旬	新卒者対象採用前実習(希望者)
4月1日	採用

※試験の詳細については「令和8年度滋賀県公立学校教員採用選考実施要項」で確認してください。

Q2 福利・厚生はどのようになっていますか。

- A**
- 医療費の補助
病気や負傷で療養したとき、病気や負傷で療養のため入院したとき
 - 給付金・手当金
結婚、出産、入学、災害、障害、リフレッシュ活動助成金(10年・20年・30年)、休業等(傷病・育児・介護他)
 - 割引斡旋
レジャー施設、宿泊施設、観劇・スポーツ観戦、医療、旅行者、物品販売、教育、冠婚葬祭、住宅メーカー
その他、生涯生活設計づくりや貸付等があります。

Q3 健康支援や相談体制はどのようになっていますか。

A 各種検診の他にも、教職員相談、メンタルヘルス相談窓口等を設置し相談を受け付けています。教職員が安心して子どもと向き合えるようサポートしています。

Q4 採用後の給与と主な休暇制度について教えてください。

A

区分	給与額	
	初任者	教員経験者(5年)
修士課程修了	304,076円	346,030円
大学卒業	284,334円	321,381円
短大卒業	265,141円	298,050円

※これらの額は、給料、教職調整額、義務教育等教員特別手当および地域手当の合計額です。
この他に扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が、それぞれの条件に応じて支給されます。なお、経歴に応じて、上記の額に一定の額が加算されます。
(令和7年4月1日現在の額であり変更することがあります)

- ◆主な休暇制度
年次有給休暇/年20日(4月1日採用者は初年度15日)
夏季休暇/年6日(6～10月の間で取得可能)※全国1位の日数
育児休暇/子が3歳になるまでの間
※男性育児取得率47.3%(令和5年度全国3位)
介護休暇/介護を必要とする1つの継続する状態ごとに通算6月まで特別休暇/夏期休暇の他に、病気、忌引、結婚、産前産後、育児時間、ボランティア、配偶者出産、男性職員育児、看護、学校行事 など

Q5 過去の採用選考問題を見ることはできますか。

A 過去の教員採用選考試験問題および正答例等は、滋賀県庁新館2階の県民情報室で閲覧およびコピー(有料)をすることができます。
窓口：県民活動生活課県民情報室(TEL:077-528-3121)

Q6 昨年の採用試験の合格者数と倍率を教えてください。

A 令和7年度合格者数等

職種	合格者数 (人)	倍率 (%)
小学校教員	230	2.3
中学校教員	153	3.5
高等学校教員	103	3.2
特別支援学校教員	50	2.2
養護教員	15	9.0
栄養教員	2	15.0
合計	553	

公立学校講師も随時募集しています。



令和8年度滋賀県公立学校教員募集

魅力あふれる滋賀で、 子どもたちと未来を創ろう

母なる琵琶湖。田園。山並み。豊かな自然に恵まれた滋賀県。
幾度も歴史の表舞台に立ち、多くの文化財を有しています。
自然と調和のとれた街並みで利便性も良く
住みやすい街として知られています。

子どもを真ん中にした教育施策を総合的に推進します。

夢と生きる力を育む



学びの基盤を支える



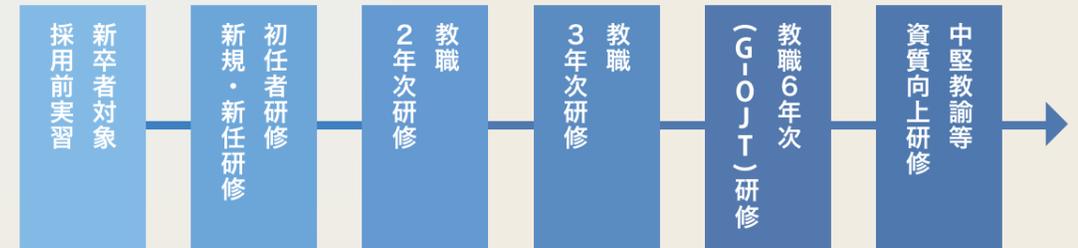
みんなで学びに関わる



滋賀県では万全の研修体制で若手教員をサポートします。

新規採用から、教職 11 年目程度の教員について、系統的・継続的な研修体系を確立しています。特に新規採用から 3 年次までで 25 日間、教職 6 年次では 2 日間、中堅教諭等資質向上研修では 8 日間の校外における研修を行います。

※滋賀県総合教育センターにおいて実施している研修について掲載しています。



学習指導力・生徒指導力・組織対応力を向上

滋賀県の公立学校には、すべての教員が学び合える組織がある

各校のOJT組織



日常的な OJT により若手教職員を支えています。



教職経験 6 年程度の中堅教職員を若手教職員のリーダーにして、若手教員が授業づくりや生徒指導等について、学び合える校内研修体制 (G-OJT: グルーピングによる OJT) が確立されています。

教育長からのメッセージ

滋賀の教員を志す皆さんへ

滋賀県は、琵琶湖をはじめとする豊かな自然と、歴史的・文化的遺産にあふれ、子どもたちの教育の場として、大変恵まれた環境にあります。県内の公立学校では、これからの環境を大いに活かした「滋賀ならではの学び」を展開しており、子どもたちの学びの質が一層高まるよう各校で授業改善に取り組んでいます。

教員は、子どもたちとともに成長し続けることができる、やりがいと満ちた素晴らしい職業です。この滋賀県を、皆さんの夢をかなえる場として選んでいただけることを心から願っております。

皆さん、お一人おひとりが、やりがいとモチベーションをもち、いきいきと働いていただけるよう、滋賀県教育委員会も全力で支援してまいります。

滋賀県教育委員会 教育長 村井 泰彦

滋賀ならではの本物体験・感動体験の推進

琵琶湖を中心とした豊かな自然、文化芸術を活かした体験型の教育カリキュラムを構築しています。

うみのこ(「湖の子」体験学習)

やまのこ(森林環境学習)

たんぼのこ(農業体験学習)

ホールの子(文化芸術体験学習)



学習船「うみのこ」

子どもと共に笑い、楽しみ、学べる



小学校教諭



田淵 雅也 先生

特別支援学校教諭

國近 咲良 先生



子どもも大人も一緒に成長！



自分たちと一緒に勉強や遊びを楽しんでくれた4年生の時の担任の先生へのあこがれがきっかけでした。

日々子どもたちと接する中で、たくさんの喜びを感じます。勉強や運動のどの分野であっても苦手意識をもつ子どもはいます。そんな子どもたちが「できた!」と満足気な表情になったり、休み時間に苦手だったはずのことに夢中になったりしている姿をみると、とても嬉しい気持ちになります。また、保護者の方には、「先生のおかげで頑張ることができました」などの温かい言葉をいただけることも、力になります。

授業はもちろんですが、学校生活の中では学びの場がたくさんあります。4月から3月までの1年間で、子どもたちは大きく成長します。学級の子どもたちに、担任として自分の想いを語った私の言葉や内容が、数か月後に子どもたちの中で口癖になっていたりと、当たり前の日常になっていたこともあります。そんな子どもたちの成長や変化を感じるたびに、充実感を得ることができ、心が温かくなります。これが教師ならではの魅力だと思います。

先輩からのアドバイス

教員は子どもたちの成長に関わる、責任ある仕事です。こちらが真剣に向き合い、寄り添うことで、子どもたちはきっと心を開いてくれます。子どもたちと共に楽しく過ごせる、すばらしい仕事です!

Attention 滋賀県の教育の魅力

子どもたちと関わる中で、「どうしたら楽しい授業ができるのか」「力が付くのか」などの悩みを感じることがあります。そんな時には、先輩の先生に相談すると、快く相談のってくださいます。みんなで子どもを大切にしようという、素敵な先生方に支えられています。

知的障害がある弟の授業参観や教育実習を通して、児童たち一人ひとりに寄り添う先生方の姿に魅力を感じました。

教員になって毎日がやりがいに溢れています。私は現在小学部の担任を受け持っていますが、毎日新しい発見があります。児童らが積み重ねてできるようになったこと、いつも一緒に過ごしている児童らの初めて見る行動、自分なりに楽しく遊んでいる姿、授業での反応など、毎日学びがあります。そして、コミュニケーションが苦手な児童と目が合うようになり、自分にしか見せない姿が増えるなど、児童たちとの距離が縮まったと感じると、頑張ってきたなと思います。

もちろん、思ったとおりに進まない授業や、教材研究の難しさ、児童とのかわり方など頭を抱えることもたくさんあります。しかし、「自分も成長できている!」という喜びを感じると、教員になってよかったなとつくづく思います。また、本校はとても相談しやすい雰囲気です。私は悩みを抱えやすい性格なのですが、特に特別支援学校は複数担任制(チームティーチング)であり、いつも同じ学級の担任の先生方に相談のっていただいています。

先輩からのアドバイス

晴れて特別支援学校教諭になったときには、チームティーチングが大切になります。複数の目で子どもたちを見守り、悩みがあるときは一人で抱え込まず、周りの先輩方に頼りながら一緒に解決しましょう!

Attention 滋賀県の教育の魅力

滋賀県は自然が豊かで、その特徴を生かしたカリキュラムの中でたくさんの本物体験をすることができます。そのような環境の中でのびのびと成長する子どもたちと一緒に過ごすことにも魅力を感じます。私の勤務校も温かい雰囲気、日々頑張ることができています。

田淵先生のある一日

- 5:30 起床
- 7:15 登校(8時から登校指導)
- 8:20 教室で指導



- 12:20 給食(児童と一緒に)
- 12:50 昼休み(掃除や読書)
- 13:50 授業開始



- 帰りの会をして15:40 下校
- その後、欠席者への連絡、会議など
- 19:00 学校を出て帰宅
- 24:00 就寝

國近先生のある一日

- 6:30 起床
- 8:20 登校
- 児童たちが9時に登校後、教室での指導



- 12:00 給食
- 13:30 昼休み(児童と一緒に遊ぶ)
- 13:45 授業開始



- 14:30 帰りの支度
- 15:00 下校
- その後、教室の掃除、会議、校務分掌
- 19:00 学校を出て帰宅
- 23:00 就寝

自分の思いを伝える喜びを知ってほしい。

近所の子どもたちに、絵画を教えたことがきっかけ。楽しく制作する姿を見て、教師になりたいと思いました。

一番は、生徒の笑顔を見ることです。私の学級の生徒たちは、毎日元気に登校し、友達と楽しく過ごしています。しかし、時には笑顔の裏に、小さな悩みや不安が見えることがあります。そんな時はゆっくり話を聴くことで、また安心して学校に通ってくれるようになります。

一人の生徒に対して、3年間という短い時間ではありますが、生徒たちの心の支えになっていることに喜びを感じます。また、教科では、美術に苦手意識を持っている生徒に対して、いかに分かりやすく、技術や知識を伝え、楽しく制作させることができるか考えて授業を組み立てます。授業の仕上げづくりがうまくいき、自分を表現することに臆病な生徒たちが、「私の作品を見て！」と目を輝かせている姿を見ると、こっそりガッツポーズしたくなるほど嬉しくなります。自分の関わりによって、生徒たちが毎日元気に登校したり、授業を楽しみに来てくれることが、何よりもよかったと思えることです。

先輩からのアドバイス

自分の子どもが小さい頃は、臨時講師として勤務していましたが、子育てがひと段落したタイミングで、周囲の先生方の応援もあり、正教員を目指すことを決意しました。若い先生と一緒に働くことは不安があるかもしれませんが、子育てを経験したからこそできる考え方や接し方は、強みになると思います。



中学校教諭 美術

前田 三保子 先生

Attention 滋賀県の教育の魅力

どの学校の先生方も生徒たちが大好きで、毎日丁寧に、子どもに向き合っています。大変な仕事はたくさんありますが、みんなで声を掛け合い、助け合って仕事をしています。仕事のことだけでなく、プライベートなことも気軽に話せるので、毎日楽しくやりがいを感じて働くことができます。

脇役として主役（生徒）の魅力を開花させる。

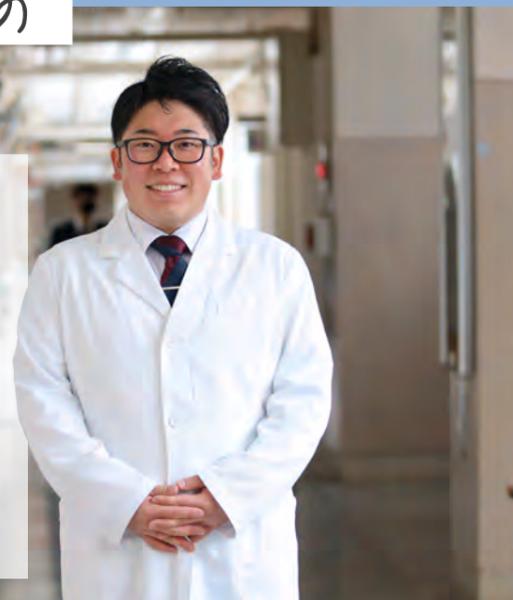
人生の中で「師」と思えるような指導者に恵まれました。自らも生徒の良き「師」になりたいと思い、教員を志望しました。

生徒は日々成長していきます。そんな生徒の成長を一番近いところで見られるのが教師の良さだと思っています。「授業で説明してもらったところがわかるようになったよ」と満面の笑みでやってくる生徒の顔を見ると、「教材研究、頑張ってたな」と心の底から思います。部活動においても、私はソフトテニス部を担当していますが、「目標達成のために」という思いで、一生懸命に指導することもあります。そして日に日に技術が向上し、目標へと近づいていく生徒の姿を見るとうれしく、生徒以上に喜んでくれるかもしれません。

教師は主役ではなく脇役であるべき、と私は思っています。あくまで生徒が主役です。ただ主役でも気づかないような魅力を引き出させる脇役がいてこそ、良いストーリーが生まれます。教師の仕事をしていると、生徒が自らの魅力を開花させ、社会へと羽ばたいていく姿を毎年見ることができ、そんな姿を見たとき、私は教師のやりがいを強く感じるとともに、楽しさを感じています。

先輩からのアドバイス

教師の仕事には大変な面も当然ありますが、それ以上にやりがいや楽しさのある仕事です。大学生のうちに教科の勉強はもちろん、たくさんの経験を積みましょう。きっとあなたの助けになります。



高等学校教諭 理科(生物)

野崎 勝也 先生

Attention 滋賀県の教育の魅力

滋賀では、教員一丸となって生徒を見守ります。初めて教壇に立つ時、当然緊張しますが、多くの先生がサポートして下さいます。また教科指導においても、教員間で情報交換を頻繁に行います。生徒とともに教員も成長し続けることができる、これが滋賀の教育の魅力だと思います。

子どもたちの将来の健康な体をつくります。

子どもの頃好き嫌いが多かった私に、親身に声をかけてくれた小学校1年生の時の担任の先生のようになりたいと思いました。

栄養教諭の主な仕事は、献立作成、給食を安全に提供するための衛生管理などの給食管理と、子どもたちに食の大切さや楽しさを伝える食育指導の2つです。

給食の時には、各教室を回り、子どもたちの食事の様子を観察したり、声をかけたりします。献立作成時は、いつも給食時間の子どもの様子を思い浮かべます。残食の多い食べ物も、味付けや調理方法を工夫することによって、食べられるようになる子が増え、とてもうれしい気持ちになります。また、食育の授業で、2年生に成長に必要な栄養素であるカルシウムについて伝えると、苦手だった牛乳をがんばって飲む子どもが増えました。5年生で行った朝食の授業では、みんなが活発に意見を出し合い、グループワークをする姿が見られました。このように、子どもたちの少し成長した姿や楽しみながらも真剣に取り組んでいる姿を見た時に、栄養教諭としてやりがいを感じます。これからも、子どもたちと一緒に、栄養教諭として成長していきたいと思っています。

先輩からのアドバイス

現在、勤務している学校は自校給食なので、子どもたちの「おいしい」という笑顔を毎日見ることができます。子どもの笑顔が見たい、食べ物のことについて教えたい、そんな人には栄養教諭はとてもおすすめの仕事です。



高山 理央 先生

Attention 滋賀県の教育の魅力

栄養教諭は人数が少ないため、1人で悩んでしまうこともあります。しかし、そんな時はいつも先生方が「どうしたの」と温かい声をかけてくださったり、話を聞いてくださったりします。そんな優しく温かみのある職場に日々、支えられています。

「一歩踏み出すきっかけの場所」をつくります。

学校生活を送るには、心と体の健康バランスが基礎であることに気づき、子どもの心身の健康を守り育てる養護教諭を志望しました。

自分の手で触れて手当てができ、子どもたちに安心感を与えられる養護教諭という職業に就けたことに幸せを感じます。自身の学校生活を思い出すと、痛いところの処置をしてもらったり、辛いときに背中をさすってもらったりすると、安心した経験があります。養護教諭だからこそ、体のアセスメントから心へアプローチでき、子どもたちが心身ともに健康で、安心して学校生活を送っていることをとてもうれしく思う日々です。

また、子どもたちが何気なく保健室に来て「なんか落ち着くねんなあ」と言ってホッとしてから授業へ行く姿を見ると、養護教諭になってよかったと思います。保健室経営や対応に悩むこともありますが、保健室を「一歩踏み出すきっかけの場所」にしたいです。これでいいんだと子どもたちが気付かせてくれることもあり、日々子どもたちからパワーをもらい、先輩方に支えていただけるこの環境に感謝の気持ちでいっぱいです。

先輩からのアドバイス

現場に出てからは、自分の心身の健康が第一です！子どもに負けないくらいの体の元気で、子どもが納得するまで思いを聞いて受容し続けられる心の余裕が必要です。子どもと向き合うために、自分を大切にしてください。



岩村 季良利 先生



Attention 滋賀県の教育の魅力

私は県外出身ですが、心細さを全く感じないほど温かい職場環境で働いています。校内では一人職で不安なことがありますが、先輩方が目指す背中を常に見せて支えてくださいます。また、市内の心強い先輩養護教諭の方々は、一人で抱え込まないよう、いつも優しく気にかけてくださいます。